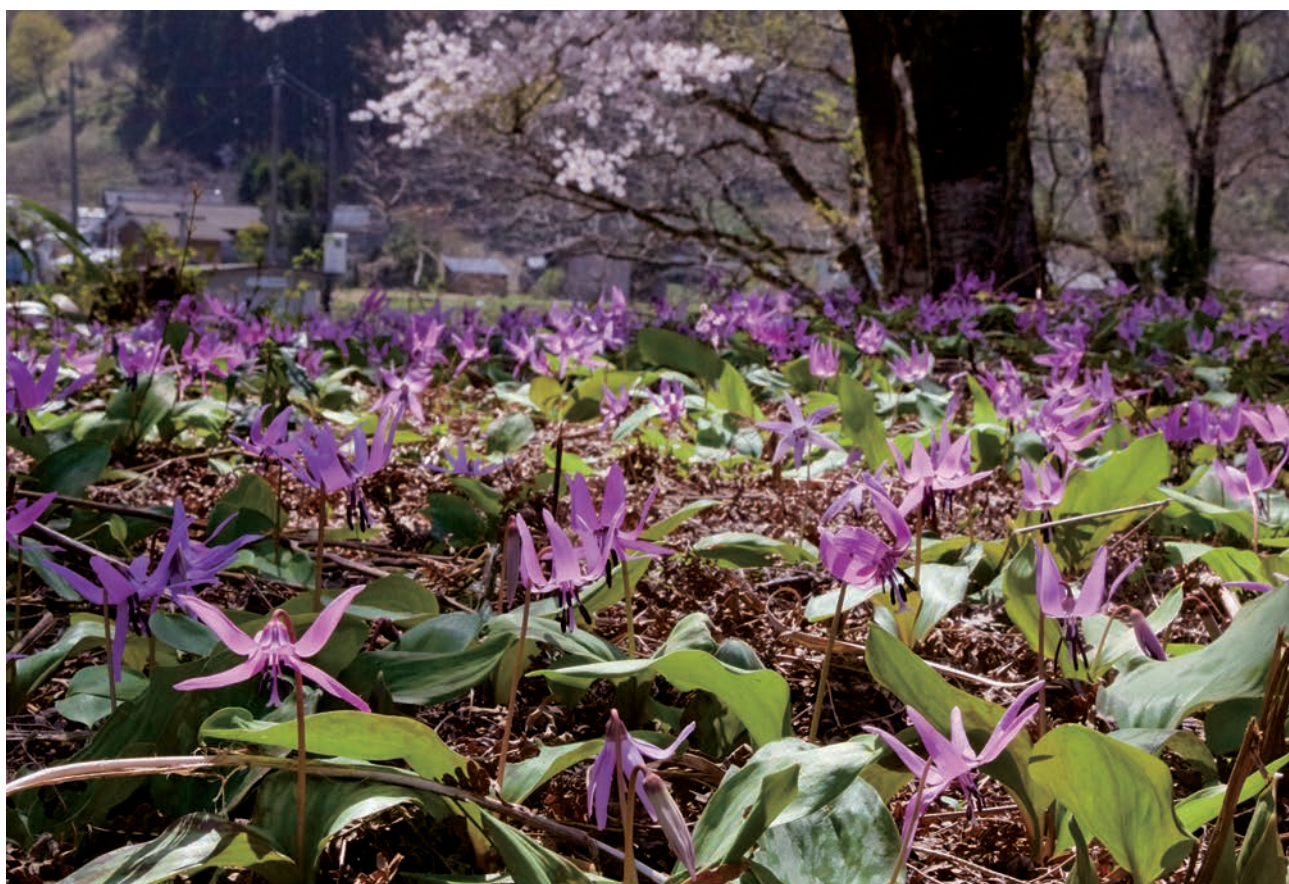


めでいかすとり *Médicastre*



「 下田沢のカタクリ園 」

第63回 鶴岡准看護学院入学式

日時：令和3年4月8日(木) 13:30～

場所：医師会館 3階講堂

令和3年4月8日、第63回鶴岡准看護学院入学式が挙行されました。令和5年3月をもって閉校を迎える当学院にとって、最後の入学生となる21名が入学しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から入学式が中止になったため、新2年生にとっても初めて経験する入学式でした。これから同じ目標に向かう仲間とともに、知識や技術だけでなく、思いやりの心と感謝の気持ちを育むため、充実した2年間にしていきたいと思います。会員の先生方の温かいご指導とご協力を賜りますよう今後ともよろしくお願いいたします。

佐藤 梨音

入学式を終えた今は時間が経つにつれて、伝統ある学校の最後の入学生だという意識が強まり、身が引き締まる思いでいっぱいです。不安や緊張はありますが、幅広い年代の方々と同じ目標に向かって取り組む貴重な機会を楽しみ、自分の成長に繋げていきたいと思います。これからは働きながら学ぶという新しい生活が始まるので、健康管理や時間管理も意識していきたいです。これから2年間、辛いことも楽しいことも沢山あると思いますが、クラスメートとともに協力し合い、目標に向かって頑張っていきたいと思います。

田中 伶果

鶴岡准看護学院の最後の入学式を終えて、准看護師になりたいという決意がより一層強まりました。久しぶりの学校生活への不安、勉強についていけるかという焦り、様々なことが重なり合いとても緊張していました。しかし、同じ目標に向かって苦楽を共にする仲間に出会い、自分は一人ではないことに気づきとても心強い気持ちになりました。私は、患者さん一人一人の気持ちに寄り添える看護がしたいと思っています。これからクラスメートと積極的にコミュニケーションをとり、目標とする看護師像に近づけるよう努力していきたいです。

丸山 縁

新型コロナウイルス感染症が拡大している地域もある中、同じ目標を持ち様々な経験をしてきた21名が無事に入学式を終えることができました。幅広い年代の人達と同じ目標に向かって切磋琢磨し、今後の苦難を乗り越えていこうと決意を新たにしました。自分の家族が入院した際、支えていただいた経験があり、今度は私自身が患者さんや家族を支えていく側になりたいと思います。不安などを抱える方々が少しでも楽になれるよう、思いやりのある看護を提供できる看護師を目指していきます。



エー(A)会員になりました

—新規開業医紹介—

あい庄内クリニック 齊藤 佳寿

当院は2020年10月1日に、庄内平野の真ん中、三川町の赤川のほとりに、「訪問診療中心のクリニック」として開院いたしました。庄内地区ではまだ馴染みが薄い印象の「訪問診療」ですが、庄内地域で「最期は自宅で過ごしたい」方々の想いを叶えるために開業いたしました。

私は三川町のお隣、庄内町に生まれ育ち、高校は鶴岡まで電車と2台の自転車を使って通学しておりました。

当時の鶴岡は駅前の通学路も、たくさんのお店で賑わっていて、何度も電車に乗り遅れそうになりながら、楽しく通っていたことを思い出します。

庄内に帰郷し、庄内余目病院で内視鏡検査や外来を非常勤医師として数年間担当した後、約8年間、老健「徳田山」で施設長を務めておりました。

老健で高齢者医療に携わる中で、施設でもお看取りを始めるようになり、徐々に介護保険で出来ることの限界を実感し、もう一度、医療に携わり、自分の活躍の場をもっと広げたいと思い、現在に至ります。

三川町は医療機関が少ない地域で、訪問診療クリニックとしての認知度は低く、開院当初は、「あの～、風邪ひいたんですけど、診てもらえますか～？」と、往診中で医師が居ない時間にふらりと来られる若者が居たり、お豆腐屋さんの跡地に開院したことから、「あれ??? ここお豆腐屋さんだったはず、、、。」と、お豆腐を売っていないことを不満そうに帰られて行かれた方など、多様なお客様がいらっしゃいました(汗)。また、川べりであるがために、雨

上がりの朝は、無数のミミズがアスファルトを這っていたり、周囲には何も無いが故に、強風でクリニックのドアや車のドアさえも開閉できなくなったり。

そんなこんなで約半年が経過しようとしております。少しずつ訪問診療クリニックとして認知されるようになり、基幹病院をはじめとして、居宅ケアマネ、施設ケアマネの方々からご紹介いただき、自宅や施設で最期の時までサポートできる件数も増えてきました。

末期癌の患者様の疼痛管理をはじめとして、精神的な苦痛を和らげてあげられるように、訪問看護ステーションや薬局、医療機器メーカーの方々と連携を図りながら、速やかな対応を心がけています。

また、末期癌に限らず、神経難病や心不全末期の患者さんなど、多様な疾患の患者さんの受け入れを行なっています。

小さなクリニックではありますが、庄内地域での大きな役割を担えるクリニックになるように頑張っ参りますので、何卒、宜しくお願い致します。



クリニック外観と往診車両（燃費重視です(^^;)）

マイペット&マイホビー

— 第 112回 —

「ドローングラファー」を目指して

三原皮膚科 三原 一郎

私がドローンを始めたのは5年程前に遡る。子供の頃から模型飛行機、プラモデル、ラジコン、PCの組み立てやプログラミングなどモノづくり系の作業が大好きだったので、ドローンをネット上で知り早速注文したのは必然だったのだろう。最初に買ったのが赤い機体のParrot社（フランス）のBebopというドローンであったが、当時のドローンは性能が不安定で次々に遭難(?)し、2年間に3機を失った。その頃にはドローン熱も冷め、もう止めようと思っていたのだが、DJIから以前とは格段に進化したMavic Proというドローンが発売され、また購入してしまった。DJIは中国のドローンメーカーで、今やプロの空撮のほとんどにDJIのドローンが使われている。現在は、Mavic Proからさらに進化したMavic2 ZoomとMavic Air2を愛用している。性能は極めて安定しており初期のBebopとは雲泥の差である。お蔭で集中して空撮ができるようになり、安心感に背中を押され再びドローンに熱中している昨今である。

ドローンは飛ばす事自体も面白いが、私にとっての最大の魅力はなんといっても空撮映像による作品づくりである。地上からは見ることができない美しい風景を撮ることは感動そのものであり、編集を通して作品に仕上げることでその感動を共有できることは大きな喜びでもある。作品はYouTubeなどSNSに公開したり、待合室で放映したりしている。作品に仕上げるにはそれなりのノウハウが必要であり試行錯誤してきたが、そのかいあってか、最近は自分でも満足できる作品をつくれるようになってきた。患者さんからは「ドローン映像素晴らしいですね」などと褒めて頂くことも多々あり、嬉しい限りである。また、メディア制作会社やテレビ局からドローン映像を使わせてくれない

かとのオファーがあり、クイズ番組やバラエティ番組で放映されたこともある。また、こちらの医療センターや湯田川温泉リハビリテーション病院から施設紹介用の映像を頼まれ、それなりの対価を頂くこともあり、趣味とはいえ多少の益にもなっている。

ここで、ドローン撮影が警察沙汰になったというエピソードを。鳥海山を背景に走る、特急「いなほ」を撮りたくて、遊佐でドローン撮影をしていたときのことである。民家の近くでホバリングさせ、電車が来るのを待っていたのだが、それを不審に思った民家の人警察に通報してしまったのである。なんと酒田警察署から警官が5名も駆けつけ、住所、氏名、職業は勿論、ドローンと一緒に顔写真を撮られたり、ドローンの番号を控えられたりと事情聴取されてしまった。ドローンの飛行に関しては、国土交通省から認可を受けてはいても航空法によるさまざまな規制がある。幸いその時の飛行に違法行為はなかったのでお咎めなしだったが、ドローンを飛ばすのは今でも冷や冷やものである。ところで、通報した民家のご主人から、折角だからうちの庭（豪邸でした）もドローンで撮ってくれと頼まれたり、お茶を飲んで行けと言われど馳走になりながら世間話をしたり、帰り際にはお土産にとお酒まで頂戴し、苦い経験のはずがむしろほっこりした思い出話となった。

ドローングラファーとは、企画、空撮、編集、発信をすべて一人でこなす人のことだ。今後とも、感動的な作品を創れるドローングラファーを目指し、美しい庄内の四季を伝え続けたいと思っている。なお、YouTubeから「三原一郎」で検索して頂くと過去の作品を視聴できる。コメントなどを頂ければありがたい。



図1 最初に買った赤い機体のBebopとMavic Pro。操縦には専用のコントローラーを使用する。

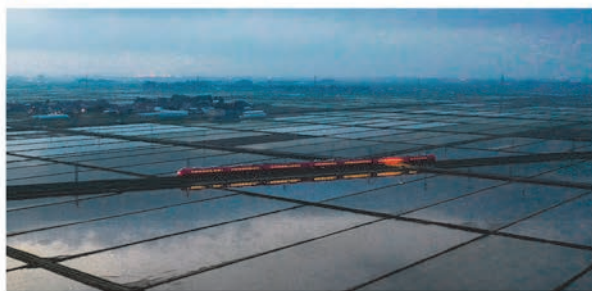


図2 水田を走る特急「いなほ」。警察沙汰はこの「いなほ」撮影時に起きた。



図3 庄内の美しい四季をドローン映像で感動と共に伝えたい。

新入会員紹介 ～令和3年4月1日入会～

①氏名 ②生年月日 ③生まれた所・育った所 ④勤務先・診療科目
⑤出身校 ⑥趣味・特技 ⑦鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言



- ① やぎ 実
② 昭和31年1月8日
③ 東京都渋谷区
④ 鶴岡市立荘内病院、小児外科、
鶴岡市病院事業管理者
⑤ 新潟大学医学部医学科
⑥ 食べ歩き、テニス、
クラリネット、磁器収集
⑦ 30代で2年間勤務させていた
だいた荘内病院に戻って来まし
た。宜しくお願い致します。



- ① にっ た り え
② 昭和38年1月24日
③ 酒田市
④ 県立こころの医療センター
精神科・麻酔科
⑤ 秋田大学
⑥ 乗馬、旅行
⑦ 数十年ぶりに地元に戻りまし
た。これからネットワークを拡
げていきたいと思います。よろ
しくお願いします。



- ① あか お ごう
② 平成2年6月29日
③ 山梨県甲府市
④ 鶴岡市立荘内病院
⑤ 山形大学
⑥ フットサル、囲碁
⑦ 2年間、鶴岡の食と文化を堪能
しつつしっかりと勉強したいと思
います。よろしくお願いいたします。



- ① おお た ゆう じ
② 平成6年8月27日
③ 東京都
④ 鶴岡市立荘内病院
⑤ 東北大学
⑥ スノーボード、山登り、筋トレ
⑦ 2年間よろしくお願いいたします。



- ① おか だ みち ひで
② 昭和60年9月24日
③ 東京都町田市
④ 鶴岡市立荘内病院
⑤ 東邦大学
⑥ 温泉入浴
⑦ 宜しくお願い致します。



～ 寄贈いただきました ～

3月15日(月)13:30～鶴岡地区医師会館3階講堂で、「新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金による医療物資贈呈式」が行われました。

鶴岡市と赤川花火実行委員会が共同で、新型コロナウイルス感染のリスクを負いながら医療現場の最前線で治療にあたっている方々を支援、応援するために寄附金を創設し、集まった寄付金で医療物資を寄贈いただきました。誠にありがとうございました。



医師会ニューフェイス

～令和3年4月1日採用～

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① 粕谷 あゆみ
 ② 荘内地区健康管理センター
 総務企画課 保健師
 ③ 温泉巡り
 ④ 初心を忘れず、前向きに頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



- ① 佐藤 みすず
 ② 荘内地区健康管理センター
 事業推進課 一般職
 ③ テレビを見ること、映画鑑賞
 ④ 1日でも早く職場の雰囲気になるれて、社会人として一生懸命頑張ります。



- ① 小野 琢郎
 ② 荘内地区健康管理センター
 事業推進課 一般職
 ③ モンテディオ山形、ジム通い、犬の世話
 ④ 業務を通じて地域に貢献することができるよう日々精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。



- ① 佐藤 悠佳
 ② 荘内地区健康管理センター
 臨床検査課 臨床検査技師
 ③ ピアノ演奏、音楽鑑賞
 ④ 地域医療に貢献できるよう、何事にも精いっぱい取り組みます。よろしくお願いいたします。



- ① 五十嵐 美春
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 リハビリテーション課 言語聴覚士
 ③ 風景や人などの写真を撮ること、人の顔を覚えるのが得意
 ④ 信頼されるSTになれるよう、日々頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



- ① 五十嵐 なずな
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 看護課 看護師
 ③ 趣味はONE OK ROCKのライブ鑑賞。
 特技はお菓子作り。
 ④ これから、たくさんの人と関わり、たくさん学びを得て自分の成長につなげたいと思います。よろしくお願いします。



- ① 山口 明莉
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 看護課 看護師
 ③ ピアノを弾くこと
 ④ 看護師・新社会人として、多くのことを学び成長していきたいです。よろしくお願いいたします。



- ① 石井 朱音
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 看護課 看護師
 ③ スポーツ観戦、目的地まで歩くこと
 ④ 日々の学びを大切に、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



- ① 鈴木 美結
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 看護課 看護師
 ③ カフェ巡り
 ④ 初めての病棟勤務で不安もありますが、常に患者さんやご家族に寄り添い、安全・安楽な看護が提供できるよう、知識や技術を磨いていきたいです。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



- ① 渡会 裕利香
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
 看護課 准看護師
 ③ 着物を自分で着れる
 ④ 自分の出来る事を精一杯していきたいです。笑顔を忘れず頑張ります。



- ① 大川 珠奈
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
 療養課 介護福祉士
 ③ ショッピング、映画鑑賞
 ④ 一日でも早く戦力になれるよう尽力していきます。よろしくお願いします。



- ① 渡邊 翔
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
 療養課 介護福祉士
 ③ 料理、歌うこと
 ④ 他の職員の方としっかり連携を取りながら、明るく元気に頑張ります。よろしくお願いします。

表 紙

「下田沢のカタクリ園」

真島 吉也

春には下田沢のカタクリ園を訪れるのを楽しみにしています。4月の下旬より5月の上旬ごろ、水量豊かに流れる大鳥川にかかった吊り橋を渡ると2町歩近くもある一面に咲き誇った紅紫色のカタクリの花の群生風景が展開します。遅咲きの桜の彼方には対岸の山里の風景が望めます。

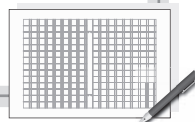
編 集 後 記

ようやく風も暖くなり、上着を重ねなくても外出できる季節になってきました。今年は桜の開花が例年より早く、従業員のお母さま方が入学式と桜の開花が丁度重なり喜んでいたのを覚えております。自粛生活も2年目に入り、緊急事態宣言も3回目となりました。思い返せば1年前コロナウイルスの世界的蔓延が報告され始めた頃の私の主なネット検索は、日本経済新聞が出している「新型コロナウイルス 世界感染マップ」、その後は東洋経済が出している「新型コロナウイルス・国内感染状況」、その後は主に山形県ツイッターで感染状況を確認しています。今回この編集後記を書くにあたって久しぶりに「世界感染マップ」を確認すると、5月6日現在、各国累計感染者数「中国9万714人」「日本61万3,819人」「インド2,028万2,833人」「世界1億5,381万9,254人」でした。今、山形県では医療従事者への予防接種の最中であり、医院でも患者さん達からも「予防接種を私は打ってよいのですか？」という質問・電話も増えてきました。患者さんからお話を聞く限りでは予防接種に積極的な方が多く、やはりお若い方が発熱等の副反応が多いのかな、と思いました。先行きも終わりも見えない中でたまにテレビを見ると、「ウイルスを除去します」的なCMが増えてきているな、という事と、株価が高騰している事、予防接種の事、またオリンピックってどうなっているのかな、という事です。今この編集後記を書いている最中の聖火リレーは熊本県を走っています。オリンピック開催には開催方法を含めて賛否両論色々あるかとは思いますが明るいニュースが多くなっていけば良いかなという事を思います。

(木根淵 智子)

原稿募集中！

趣味・話題・旅行記・思い出が
あるもの・大切な思い出の出来事等
なんでも構いません。
総務課までご一報を！



編集委員：渡邊秀平・小野俊孝・吉田 宏・木根淵智子・菅原真樹・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jpホームページにも掲載しております 鶴岡地区医師会 検索 URL <http://www.tsuruoka-med.jp>